

CSW は仙台市社会福祉協議会の 各区・支部事務所にいます。



お気軽にご相談ください。



仙台市社会福祉協議会 各区・支部事務所

CSW

福祉や暮らしの困りごと、地域福祉活動に関する相談、地区社協活動の支援など

ボランティアセンター

ボランティアに関するご相談、福祉教育に関する相談など

仙台市権利擁護センター (まもリーぶ仙台)

判断能力が十分でない方のサービス利用や金銭管理の支援など

生活福祉資金等 貸付相談

低所得者等の経済的自立と生活安定に向けた相談と貸付。

区民生委員 児童委員協議会

民生委員活動の支援、各種団体との連絡調整など

日本赤十字社仙台市地区本部・ 仙台市共同募金委員会

地域の赤十字奉仕団や募金会の運営や運動に関する支援、地域活動への助成事業など

※一部区事務所のみ窓口も含みます。

CSW は、各区・支部事務所の各種相談窓口とともに課題解決に向けて取り組みます。

お近くの社会福祉協議会はこちらです



○青葉区事務所 〒980-0802 青葉区二日町 4-3 二日町分庁舎 1 階 電話 265-5260 FAX 265-5262	○青葉区宮城支部事務所 〒989-3125 青葉区下愛子字観音堂 27-1 宮城社会福祉センター内 電話 392-7868 FAX 392-7736
○宮城野区事務所 〒983-0841 宮城野区原町 3-5-20 メゾン坂下 1 階 電話 256-3650 FAX 256-3679	○若林区事務所 〒984-0811 若林区保春院前丁 3-1 若林区中央市民センター別棟 1 階 電話 282-7971 FAX 282-7998
○太白区事務所 〒982-0012 太白区長町南 3-1-30 電話 248-8188 FAX 248-1330	○泉区事務所 〒981-3131 泉区七北田字道 48-12 泉社会福祉センター内 電話 372-1581 FAX 372-8969
○社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 〒980-0022 青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 6 階 電話 223-2010 FAX 262-1948	ホームページ http://www.shakyo-sendai.or.jp

住みよい地域へ

CSW がお手伝い

コミュニティソーシャルワーカー

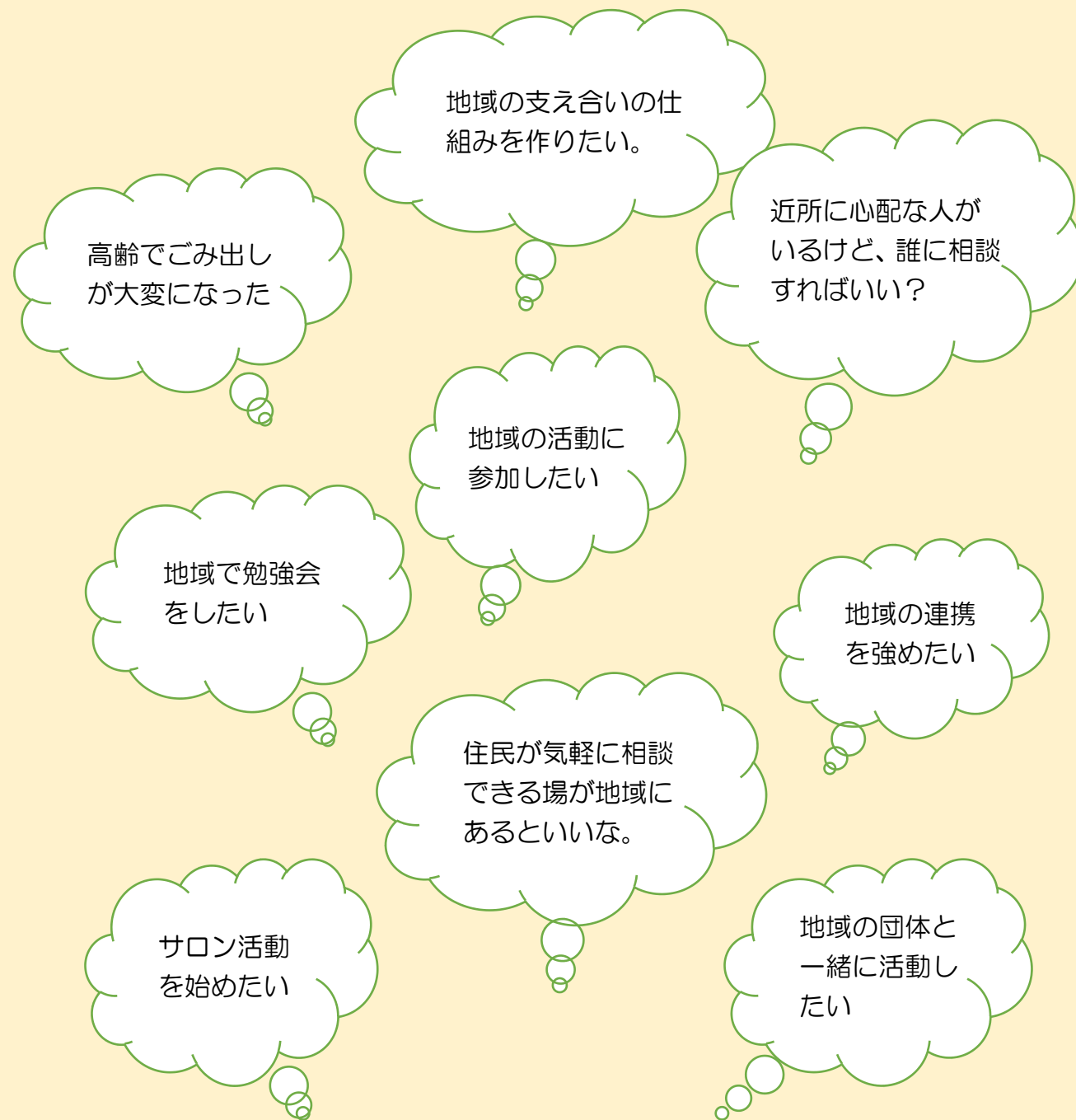


だれもが暮らしやすい
地域のために
一緒に考えませんか

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

「どこに相談していいかわからない」

こんなことはありませんか？



事例 3 | 孤立を防ぐ新たな集いの場づくり

サロン活動の担い手からの声

地域のサロンに男性の参加が少ない…。高齢になって孤立してしまわないように、緩やかな交流の場があるといいけど…。



- ・地域包括支援センターと課題共有
- ・開催場所として、近隣の店舗へ社会貢献にむけた協力の提案
- ・地区社協、地域包括支援センター、企業による企画の検討
- ・実施に向けた関係者との連絡調整

取り組みの効果

- ・「シニア男子のコーヒーの集い」という新たな集いの場がスタートした
- ・参加者が地域で開催されるサロンに参加するようになった
- ・包括やCSWと地域の課題について、話し合う機会が増えた



事例 4 | 生活に困窮するひとり親家庭への支援

生活に困窮した母親からの相談

今まで何とか頑張ってきたけど…。今日食べるものも、子どものミルクもない。どうしたらいいのかわからない。



- ・状況の聞き取りと活用できる制度があるかの確認
- ・区家庭健康課へ同行し、生活保護の申請を支援
- ・生活保護の開始までミルク等の確保に向け支援者探しを調整
- ・民生委員からの日頃の見守りのための支援

取り組みの効果

- ・窓口（区役所）へ同行し説明することで、福祉制度の利用にスムーズに進んだ
- ・地域の見守りへのつながりも行き、日頃から相談しやすい環境ができた



事例 5 | 町内会役員の気づきをきっかけとした地域活動づくり

町内会役員からの相談

高齢化がすすんで、今までのような近所同士の助け合いだけでは足りないのでは？しかし、何から始めていいのかわからない。



- ・地域包括支援センターに依頼し、日常生活で困りごとになりやすい事例について学ぶ機会をつくる
- ・地域の実態を把握するためのアンケートを地域団体と協働で企画
- ・取り組み事例を学ぶ勉強会の開催を支援
- ・支援活動の試験的な実施と振り返りや本格実施に向けた話し合いを支援

取り組みの効果

- ・アンケートを地域団体や専門職と一緒に行うことで、その後の協力も得やすくなった
- ・ゴミ出しが地域の共通したニーズとして明らかになった
- ・アンケート調査を通じて、活動を協力してくれる人も把握できた

CSW の活動事例

事例 1

見守りの活動者を育成する体制づくり

支援の概要

見守り活動の担い手の必要性について、町内会との理解を深めることで、担い手の発掘とサポート体制を支援した。

相談内容

地区社協会長からの相談

地区社協会長

「見守り活動を充実させるため、町内会の協力を得ながら、担い手を育成できる体制をつくりたい。」

支援内容①

関係者と現状や方向性の共有（確認・共有）

- ・地区社協や民生委員と現状を確認するため、他地域との比較や調査等を支援
- ・育成したい活動者のイメージを共有

支援内容②

研修や会議での意見交換（理解を広げる）

- ・地区社協と町内会役員との間で、活動者の育成について意見交換の場を設け、理解を広げた

支援内容③

活動の具体化（仕組みづくり）

- ・活動内容や民生委員等との連携方法を検討
- ・活動記録の様式や活動者へのサポート体制についての話し合い

支援結果

- ・町内会と連携した継続的な活動者の育成体制ができた。活動する人どうしの情報共有の場など、活動しやすい仕組みもできた

取り組みの効果

- ・町内会への説明を丁寧に行い、活動への理解と協力に対する意識が高まった

事例 2

高齢者の相談をきっかけとした見守り支援

支援の概要

民生委員からの相談をきっかけに、親族からの支援が見込めない認知症の初期症状と思われる方の見守り体制づくりを支援した。

相談内容

民生委員からの相談

民生委員

「近隣の高齢者が収集日に関係なくごみを出す。感情の波があり、声をかけづらい。サービス利用の状況もわからず、どうすればよいかわからない。」

支援内容①

状況の確認と方向性の共有（確認・共有）

- ・地域包括支援センターと状況の確認をして、住民が課題と感じている内容を共有
- ・関係者どうしの話し合いの場が必要なことを確認し、会議に向けた打ち合わせを行った

支援内容②

ケア会議の開催（共有の場づくり）

- ・地区社協、民生委員、町内会、隣人、グループホーム、行政、地域包括支援センターで本人等の状況やそれぞれができることについて共有した

支援結果

- ・本人への理解が深まることで、穏やかな見守り体制ができた
- ・専門機関が関わり、緊急時の対応などが確認できたことで、近隣住民や地域の支援者の不安が解消された

取り組みの効果

- ・住民の皆さんが、この事例を地域の問題として受け止め、本人への関わり方の見直しや住民対象の研修会開催の検討などにつながった

CSW にご相談ください。

「CSW（シー・エス・ダブルユー）」と呼んでいます。

CSW とは

「コミュニティソーシャルワーカー」の略称で、仙台市のCSWは仙台市社会福祉協議会の各区・支部事務所に配置されています。地域の福祉課題解決に向け、地域で活動する個人や団体、専門機関、福祉制度など、様々な社会資源を活かし、結びつけながら、だれもが暮らしやすい地域づくりを地域住民と一緒に進める活動をしています。

CSW はどんなことをする？

普段から地域の社会資源などの状況把握に努め、各団体どうしの顔の見える関係づくりや活動支援を行っています。地域での住民主体の活動に関することや暮らしの困りごとの相談を受け止め、必要とされる支援や社会資源につなぐことや、把握した課題を地域の関係者で協力しながら解決を図るための情報共有の場づくり、関係する支援者の役割の調整や連携の強化をしながら解決に向けたサポートを行います。

また、課題解決に向けた新たな取り組みや担い手の育成等、地域の資源や人材の発掘の面でもサポートし、地域の支え合い・助け合い活動の向上を進めます。



CSWへの相談から 支援の流れのイメージ

～地域活動の支援を行った場合の例～

一人暮らしの高齢者の住民が増えているけど、みんなが安心して暮らせるための地域活動ができないかしら？



相談

課題の整理

支援方法の
検討

支援の仕組
みづくり

困りごとや思いをお聞きます。
また、地域の会合や行事にお伺いする中で、地域の課題の把握に努めます。

- ・一人暮らしの高齢者への見守り活動をするのはどうですか？
- ・地域の現状をみんなで理解するためのイベントを行ってみるのはいかがでしょうか。
- ・サロン活動を企画して、閉じこもりがちな高齢者の方が参加できるようにしては？



関係する団体や人から話を聞いたり、活動の様子を見たりして、現在の状況について理解を深め、住民の皆さんと一緒に課題を整理します。

- ・サロン活動する場所は？
- ・開催する費用は？
- ・地域にはどんな福祉関係の施設や団体があるかな？
- ・サロン活動で健康づくりもできるといいな。
- ・地域内の他の団体と一緒にできるといいな。
- ・どんな人に参加してほしい？
- ・活動する人は不安がないかな？勉強会が必要かも。
- ・長く活動する上で、担い手の皆さんも負担感無く、楽しめることも大事ですね。



関係者が集い話し合う場をつくれます。
みんなでアイデアを持ち寄り、また、CSWからも利用できそうな制度や事例などの情報を提供します。

- ・地域包括支援センターと一緒に企画することで、より効果が高まると思います。
- ・他の地域で、参考になる取り組みがあります。
- ・地域にある施設が協力してくれるそうです。
- ・活動に利用できる助成金があります。申請方法を教えます。
- ・勉強会の講師を紹介します。
- ・関係する団体に企画の段階から参加してもらえるよう、一緒に相談に行きましょう。



いきいきサロン

地域の活動や人、制度、関係機関などを組み合わせから、地域の実情に合った支援の仕組みを考えます。

- ・関係する団体がそれぞれの良さを発揮できるような役割分担になるといいですね。
- ・継続的に活動していくためには、ルール作りが必要ですね。
- ・まずは、お試して実施してみ、問題点を把握しましょう。
- ・安心して活動してもらうために、ボランティア保険があります。
- ・実施後も定期的な見直しを一緒にしていきましょう。
- ・活動する人が課題を抱え込まないためのフォローの方法も検討しましょう。



— CSWの活動 —

- 社協区・支部事務所でご相談をお受けします。
- 地域で開催する定例会にもお伺いします。
- 地域内の他団体との連携をお手伝いします。
- 既存の制度や関係機関におつなぎします。
- お話を丁寧に伺いながら、地域の実情に沿って一緒に考えます。